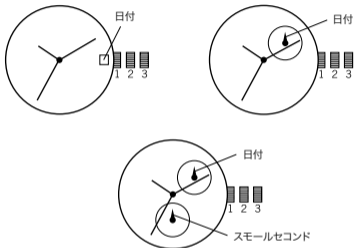


日本語

標準設定に関する取扱説明



時刻と日付の設定

1. クラウンをポジション2まで引き出します。
2. クラウンを時計回りまたは反時計回りに巻いて(モデルによる)、前日の日付に合わせます。
3. ポジション3にクラウンを引き抜き、現在の日付が表示されるまで時計回りに回します。
4. 正確なa.m./p.m.時間を設定するにはクラウンを回し続けます。
5. クラウンをポジション1に戻します。

3針デイ・アンド・ナイト2405



時間、日付、曜日の設定

1. 前日の日付に設定するには、ポジション2にクラウンを引き抜き、反時計回りに回します。
 2. クラウンを時計回りに巻いて前日の曜日に合わせます。
 3. ポジション3にクラウンを引き抜き、現在の日付と曜日が表示されるまで時計回りに回します。正確なa.m./p.m.時間を設定するにはクラウンを回し続けます。
 4. クラウンをポジション1に戻します。
- 注: 正確に保つため、9:00 p.m.から1:00 a.m.の間での日付および曜日の設定は避けてください。

オートマティック82S5

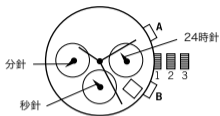


1. 時計を動かすには、ポジション1の状態でもうを15回～20回、時計回りに回します。
2. クラウンをポジション2の状態に引き抜き、時計回りに回して時間を設定します。
3. クラウンをポジション1に戻します。

注: オートマティックムーブメントの時計は、腕の動きから自動的に動力を得ます。電池は内蔵されていません。従って、連続して数日間時計を装着しないでいると、蓄えた電池を消耗してしまう場合があります。時計が止まってしまった場合は、クラウンを時計回りに回して手動でムーブメントを巻くことで、必要な電力を得ることをお勧めいたします。

時計が腕のサイズに合っているかどうかをお確かめください。しっかりとフィットしていなければ、時計が自動で巻き上げられない可能性があります。完全に巻き上げられた場合、時計は約40時間分の電気を蓄えます。

クロノグラフモデル VD53B



時刻の設定

1. 時刻設定前にクロノグラフ秒針がゼロ(12時)の位置にあることを確認します。
2. リューズを2の位置まで引き出します。
3. リューズを時計回りにまわし、前日の日付が出るまで進めます。
4. 秒針が12時の位置にきたら、リューズを3の位置まで引き出します。
5. リューズを回して針を進め、正しい時刻にセットします。
注:サブダイヤルの24時間針は主ダイヤルの時分針に順じて動きます。
主ダイヤルの時刻合わせをする際には、24時間針で午前/午後が正しく設定されているかどうかを確認してください。
6. リューズを1の位置まで押し戻します。
注:リューズが2の位置にある時は、ボタンを押さないように注意してください。
ボタンを押すと針が動いてしまいます。

クロノグラフの使用方法

1. Aボタンを押して、スタート/ストップします。
2. Bボタンを押して、クロノグラフをリセットします。

中間計測

1. クロノグラフ計測中にBボタンを押します。
2. Bボタンを再度押してクロノグラフ計測に戻ります。

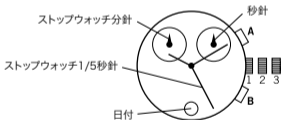
3. Aボタンを押すと最終の計測となります。
4. Bボタンを押してリセットします。

クロノグラフ針位置の調整

クロノグラフ針がゼロ位置からずれている場合は、リューズを引きAボタンとBボタンを同時に2秒間以上押し続けてください。手を放すとクロノグラフの秒針と分針がぐるっと回転し、ゼロ位置に戻ります。クロノグラフをリセットした後や、電池を交換した後など、クロノ針がゼロ位置に戻らないときに、下記の手順を行ってください。

1. リューズを2の位置まで引き出します。
2. Aボタンを押すとクロノ秒針、クロノ分針ともに時計回りに進みます。Bボタンを押すとクロノ秒針、クロノ分針ともに反時計回りに進みます。Aボタン、Bボタンとも1回押すごとに1目盛り分進みます。ボタンを長押しすると針が早送りで進みます。
3. リューズを1の位置まで押し戻します。

クロノグラフモデルISA 8171/201



時刻と日付の設定

1. 前日の日付に設定するには、ポジション2にクラウンを引き抜き、計回りに回します。
2. クラウンをポジション3の状態に引き抜き、日付ウィンドウに正しい日付が表示されるまで時計回りに回します。
5. 正確なa.m./p.m.時間を設定するにはクラウンを回し続けます。
4. クラウンをポジション1に戻します。

注記: 正確性を確保するため、9:00 p.m.から1:00 a.m.の間での日付の設定は避けてください。

ストップウォッチの操作

1. Aボタンを押すとクロノグラフを開始/停止できます。
2. Bボタンを押してリセットします。

注: 連続計測を2時間すると、バッテリーの消耗を抑えるためにストップウォッチは自動的に停止しリセットされます。

スプリットタイム

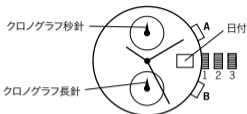
1. ストップウォッチの計測中はBボタンを押します。
2. Bボタンを再度押しストップウォッチを戻します。
3. Aボタンを押して計測を終わらせます。
4. Bボタンを押してリセットします。

ストップウォッチをゼロにリセットする

Bボタンを押した後、1本以上のクロノグラフの針が正しいゼロの位置(12:00)にならない場合(例えば、電池の交換後):

1. クラウンをポジション2まで引き出します。
2. Bボタンを押して、長針をリセットします。Bボタンを押すごとに、ストップウォッチの長針が1目盛ずつ進みます。またBボタンを長く押しと早送りでも進みます。
3. Aボタンを押して、1/5秒針をリセットします。Bボタンを押すごとに、ストップウォッチ1/5秒針が1目盛ずつ進みます。またBボタンを押したままにすると早送りでも進みます。

クロノグラフ VD51B



時刻/日付の設定

1. 時間を設定する前に、クロノグラフの秒針と分針が12:00の位置にあり、作動していないことを確認します。以下のクロノグラフ操作方法をご覧ください。
2. 前日の日付に設定するには、ポジション2にクラウンを引き抜き、計回りに回します。
3. 秒針が12:00まで来たら、クラウンをポジション3の状態にまで引き抜きます。秒針が止まります。
4. 現在の日付が日付ウィンドウに表示されるまで、クラウンを時計回りに回転させます。
- 5.. 正確なa.m./p.m.時間を設定するにはクラウンを回し続けます。
6. クラウンをポジション1に戻します。
注: クラウンが2の位置にある時には、プッシャーを押さないでください。プッシャーを押すと、クロノグラフ針が動いてしまいます。
注: 正確性を確保するため、9:00 p.m.から1:00 a.m.の間での日付の設定は避けてください。

ストップウォッチの操作

1. Aボタンを押すとストップウォッチを開始/停止できます。
2. Bボタンを押してリセットします。

スプリットタイム

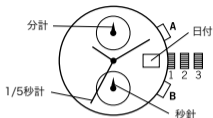
1. ストップウォッチの計測中はBボタンを押します。
2. Bボタンを再度押しストップウォッチを戻します。
3. Aボタンを押して計測を終わらせます。
4. Bボタンを押してリセットします。

クロノグラフの針をゼロの位置に調節する

Bボタンを押した後、クロノグラフのどちらの針も正しいゼロの位置(12:00)にない場合(例えば、電池の交換後)：

1. クラウンをポジション3まで引き抜きます。
2. Aボタンを押してクロノグラフの秒針をリセットするか、Bボタンを押して分針をリセットします。プッシャーを押すたびに、対応する針が1目盛り進みます。早送りをするには、どちらかのプッシャーを押したままにします。
注: クロノグラフの分針は、秒針と同時に運針します。
3. クロノグラフの針がゼロ(12:00)にリセットされたら、クラウンをポジション1の状態へ戻します。

クロノグラフ YM91



時刻と日付の設定

1. 前日の日付に設定するには、ポジション2にクラウンを引き抜き、計回りに回します。
2. 秒針が12:00まで来たら、クラウンをポジション3の状態にまで引き抜きます。
クロノグラフの針はゼロの状態(12:00)に戻ります。
3. 前日の日付が表示されるまで、クラウンを時計回りに回転させます。
正確なa.m./p.m.時間を設定するにはクラウンを回し続けます。
4. クラウンをポジション1に戻します。
注: 正確性を確保するため、9:00 p.m.から1:00 a.m.の間での日付の設定は避けてください。

ストップウォッチ機能

ストップウォッチをご利用になる前に、以下の点を必ず確認ください。

- ・ クラウンがポジション1にあること。
- ・ Bボタンを押した後、クロノグラフの針は正確にゼロの位置(12:00)にあること。
そうでない場合、針の位置は調整が必要。「クロノグラフの針をゼロの位置に調整する」というタイトルのセクションをご参照ください。

基本機能:

1. Aボタンを押すとストップウォッチを開始/停止できます。
2. Bボタンを押すと、ゼロにリセットできます。

インターバルカウント

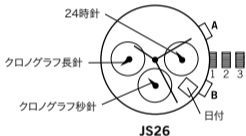
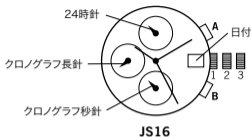
1. ストップウォッチがインターバルタイムを計測している間は、Bボタンを押します (バックグラウンドで計測が継続しています)。
2. Bボタンを再度押すと、計測中の時間を表示できます。
3. 手順1と2を繰り返すと、追加のインターバルを計測できます。
4. Aボタンを押して計測を終わらせます。
5. Bボタンを押すと、ゼロにリセットできます。

クロノグラフの針をゼロの位置に調節する

Bボタンを押した後、クロノグラフのどちらかの針が正しいゼロの位置 (12:00) がない場合 (例えば、電池の交換後) :

1. クラウンをポジション3まで引き抜きます。
2. Aボタンを2秒間、押したままにします。秒針が360度回転します。
補正モードが作動し始めます。
3. Bボタンを押して分針を1目盛り進めます。Bボタンを長く押すと早送りで進みます。
4. Aボタンを2秒間、押したままにします。1/5秒針が360度回転します。
5. Bボタンを押して分針を1目盛り進めます。Bボタンを長く押すと早送りで進みます。
6. クラウンをポジション1に戻します。

クロノグラフJS16 / JS26



時刻と日付の設定

1. クラウンをポジション2まで引き出します。
2. 前日の日付が日付ウィンドウに表示されるまで、クラウンを時計回りに回転させます。
3. クラウンをポジション3まで引き出します。
4. 現在の日付が日付ウィンドウに表示されるまで、クラウンを時計回りに回転させます。
5. 正しいam/pm時刻になるまで、クラウンを回し続けます。
注: 24時間サブダイヤル針は、時刻と分針と一緒に運針します。
時刻を設定する場合は、24時間針が適切に設定されていることを確認してください。
6. クラウンをポジション1に戻します。

注: クラウンが2の位置にある時には、プッシャーを押さないでください。

プッシャーを押すと、クロノグラフ針が動いてしまいます。

注: 正確性を確保するため、9:00 p.m.から1:00 a.m.の間での日付の設定は避けてください。

クロノグラフ

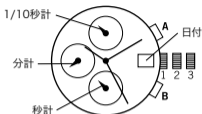
1. Aボタンを押すとストップウォッチを開始/停止できます。
2. Bボタンを押すと、ゼロにリセットできます。

クロノグラフをゼロにリセットする

1. クロノグラフのいずれの針もゼロの位置(12:00)を指していない場合は、クラウンをポジション3まで引き出します。
2. Aボタンを押すと針を時計回りに動かせ、Bボタンを押すと反時計回りに動かせます。AボタンまたはBボタンを押すごとに、クロノグラフ針が1目盛進む、または、戻ります。また目盛の進み/戻し具合を早めるには、AボタンまたはBボタンを押したままにします。
3. 両方の針がゼロの位置にある場合は、時間をリセットしてクラウンをポジション1へ戻します。

注: クロノグラフのゼロリセット中は、分針と秒針は連動します。

クロノグラフVD57 (日付あり)、VD55 (日付なし)



時刻と日付の設定

1. 時間を設定する前に、クロノグラフが停止しており、ゼロの位置 (12:00) に設定されているかどうかをご確認ください。
2. 前日の日付に設定するには、ポジション2にクラウンを引き抜き、計回りに回します
3. 秒針が12:00の位置にきたら、ポジション3にクラウンを引き抜き、現在の日付が表示されるまで時計回りに回します。正確なa.m./p.m. 時間を設定するにはクラウンを回し続けます。
4. クラウンをポジション1に戻します。
注: クラウンが2の位置にある時には、プッシャーを押さないでください。プッシャーを押すと、クロノグラフ針が動いてしまいます。
注: 正確性を確保するため、9:00 p.m.から1:00 a.m.の間での日付の設定は避けてください。

ストップウォッチ機能

基本機能:

1. Aボタンを押すとストップウォッチを開始/停止できます。
2. Bボタンを押すと、ゼロにリセットできます。

インターバルカウント

1. ストップウォッチの計測中はBボタンを押します。
2. Bボタンを再度押しストップウォッチを戻します。
3. Aボタンを押して計測を終わらせます。
4. Bボタンを押してリセットします。

クロノグラフの針をゼロの位置に調節する

Bボタンを押した後、1本以上のクロノグラフの針が正しいゼロの位置(12:00)にない場合(例えば、電池の交換後)：

1. クラウンをポジション3の状態になるまで引き抜きます。
(VD55の場合はポジション2)
2. Aボタンを押して1/10秒針計を1目盛り進めます。
Aボタンを長く押すと早送りで進みます。
3. Bボタンを押して秒針をリセットし、分計を1目盛り進めます。
Bボタンを長く押すと早送りで進みます。
4. クラウンをポジション1に戻します。